



Yonago East Weekly

●創立／1968年4月24日 ●事務所／米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 TEL (0859) 32 - 5531
●例会日／水曜日12:30～13:30 ●例会場／ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 TEL (0859) 33-0911
●会長／井上賢明 ●幹事／岩崎 浩 ●会報／荒川圭三

出席報告

会員数77名

今週のお祝い

出席100%: 2年 小田浩一君
23年 田淵亮達君

会長挨拶

漸く柔らかな日ざしが戻って、これ程春を待ち遠しいと思った年はないのですが、いよいよ節分 明後日が立春と言う事であります。

節分の行事も色々有る様で、恵方巻きだとか、最近では商魂たくましくアイデアを生かしてやっているようです。豆まきは「鬼は外福は内」ですが、色々諸説が有るみたいで、鬼の恰好は角が生えて虎のパンツに金棒を持っているというのが一般的な格好です。北東に鬼門と言うのがありまして、そこから妖怪や鬼が出這入りすると言う、牛の角に虎のパンツはなる程な、と思う訳です。金棒と言うのは豆まきの豆で火にあぶって、金の棒を火で溶かして投げつけるという説がある様です。しっかり豆を頂いてください。健康で長生きしたいものだと思いますが、恵方巻きは、無言で一気に食べなければならないそうで、是非喉に詰まらせないようにお願いしたいと思っております。

いよいよ2月に入りまして、3月末で表彰対象の事業も締め切りとなっております。4大奉仕部門が夫々及第点のところまで来たかなと思っています。米子東ロータリークラブの力を結集して財団の方とか、チャレンジ100の達成に向けて、更に残された期間カバーしていきたいと思っておりますので引き続き宜しくお願い致します。

幹事報告

1. 新入会員 牛込淳彦君迎える
2. 次期会長、幹事にガバナー・エレクトより絵ハガキ
3. RI日本事務局より
荒川(雄)会員にマルチプル・P.H.F3ピン
尾沢会員にマルチプル・P.H.F1ピン
石部会員にP.H.F賞状
4. インターアクト委員長宛にアンケートのお願い
5. 例会変更のお知らせ
松江南RC 2/14(月)⇒例会変更 2/12(土)創立50周年記念事業 ビジター受付あり

次回プログラム

2月 9日 「私の職業」 楠 明彦 会員

「職業分担— チャレンジ100から」

宮本 守 会員

2月15日 5RC合同例会

2月23日 「フィリピン人が見た日本人のここがおかしい」
松本ジョービン 氏



Let's Join!

すすんで参加しよう!

新入会員紹介

牛込 淳彦 会員

米子に来てから丁度30年になります。来た当初は知り合いも少なかった訳ですが、39歳で中央会の青年部に這入り、非常に幅が広がったと思います。又今回入会のお許しを頂き、更に自分の幅を広げる事が出来るかなと期待しています。皆様の足を引っ張ることがあるかもしれませんが、どうぞ宜しくお願い致します

《 プログラム 》

「ロータリーの友紹介」

足立 博俊 会員

- 横書き P1) ・ R I 会長メッセージ...中核となる価値観がロータリーのDNA
P8) ・ 海外クラブの例会出席...アロハの精神でカジュアルに
P12) ・ 海外クラブの例会に出席するには
縦書き P7) ・ 漬物文化を守る老舗の九代目
P18) ・ 友愛広場...50周連続100%出席達成 (新潟東Rクラブ)

「私の職業」

永島 正道 会員

私は学校法人を経営しております。その名前は永島学園で理事長という職を頂いております。この法人は米子松蔭高等学校という1校だけの法人です。生徒数737名 教職員86名、これは鳥取県内5つの私立高校の中の鳥取城北に次いで2番目の大規模校となります。これより歴史を交えて紹介致します。常に何かと戦っている私学の姿を感じとって頂ければ幸いに思います。

昭和30年米子高等経理学校が伯耆大山駅の南側に開校致しました。この当時は経理事務を専門に教える塾の様でした。そして昭和37年に高等学校に昇格し、場所を9号線沿いに移転し、米子商業高校と致しましたが、やがて9号線の交通量の増加に伴う騒音に耐えきれず、昭和45年に今の場所に移転致しました。

私立高校では普通科で有名大学を目指すという風に言われておりますが、何で商業系の高校でスタートしたのかと言いますと、学校の創立者 私の祖父に答えがあります。祖父は大正14年松江市で会計事務所を起こしました。顧客は益田から米子までと広範囲にあった様です。

昭和3年に松江簿記学校から講師の依頼を受け、その3年後に学校の校長に担ぎ出されました。祖父は教壇に立ち授業をしておりましたが、山陰の経済を活発にするにはどうしたら良いのかと、如何してもこの分野に強い人材をたくさん育成する事が必要だと思った様です。昭和21年に松江高等経理学校(現松江西高校)となります。その後出雲、米子、益田と、山陰両県に彼の考えを実行に移す拠点として四つの高等経理学校を作って行きました。この四つの学校には共通の経営方針があります。「社会に役立つ実践的人材作り」で、これが本校の建学の精神となっています。建学の精神というのは夫々の私立学校の魂、つまりどれだけ年月が経とうが変わらない不変のものでございます。従って私の仕事で一番大事なことは、常に建学の精神に沿った学校運営を行わなければならないという事です。丁度ロータリークラブの四つのテストに「言行はこれに照らしてから」とありますが、これと同様本校は今年で創立56年になりますが、常に建学の精神に沿った教育活動になっているかどうか、これを検証しております。

当初は商業高校を卒業してすぐ就職する者に対しての就職指導に力は発揮されておりましたが、50年代に入り段々進路指導の多様化が進んでまいり、大学進学を希望する者が増えてまいりました。平成11年に普通科特別進学コースを置き、校名を米子松蔭高等学校に替えました。これにより進学先も京都大学(薬)、神戸大学(工)、広島大学(法)、鳥取大学(医)等々、今までに無かったような大学が出てまいりました。私立高校は公立高校と違い社会的ニーズにかなり敏感に真面目に取り組まないとやっていけません。専門性を有利に活かせる全国で初となる経営経済科を設置致しました。...中 略
その他土曜授業、校外授業として徹底した「+α心の教育」が付加価値として今求められている実学ではないかと、社会に役立つ人材作りにこの部分が大事ではないかと、そういう気がしてなりません。

私は将来社会に出て役立つ人作りということに対して、如何にして具体的な形にして生徒達に提供して行くかと言うことが自分の仕事だと考えています。これからも皆様にはインターシップとか、企業見学とかでお世話になる事が多々あると思いますが、その時はどうぞ宜しくお願い致します。